uchida Title:道へき・複連　128号.ec6 Page:2 Date: 2007/03/14 Wed 22:04:43

平成 18 年度 会務報告

事務局長　**宮　下　　敏**

1．一般経過報告（概要）

5 月 8 日　第 5 回常任委員会
　　第 2 回監査委員会
9 日　平成 18 年度定期総会
　　第 1 回組織検討委員会
19 日　第 1 回常任委員会
22～23 日　第 1 回企画委員会、
　　第 1 回研究推進委員会
6 月　15 日　第 2 回常任委員会
　　第 2 回組織検討委員会（拡大）
23 日　道へき・複連情報 126 号発行
7 月 3～4 日　第 2 回研究推進委員会
26 日　第 3 回組織検討委員会
30 日　道へき・複連ＯＢ会役員会
8 月　7 日～8 日　根室プレ大会挨拶回り
27 日　道へき・複連ＯＢ会定期総会
9 月　13 日　第 3 回常任委員会
14 日　第 1 回監査委員会、評議委員会
14 日～ 15 日
　　第 55 回全道へき地複式教育研究大会根室大会
22 日　空知プレ大会開始
10 月　16 日～ 18 日
　　第 3 回研究推進委員会
17 日　第 22 回北海道へき地複式教育実践研究発表大会
19 日～ 20 日
　　第 55 回全国へき地教育研究大会宮城大会
11 月　2 日　道へき・複連ＯＢ会役員会
24 日　道へき・複連情報第 127 号発行
1 月　12 日　第 2 回企画委員会
29 日　第 4 回常任委員会、第 4 回組織検討委員会（拡大）
2 月　15 日～ 16 日　第 4 回研究推進委員会
3 月　1 日　道へき・複連情報第 128 号発行

2．一般業務報告

平成 18 年度においても、研究、組織、教育条件整備等の当面する課題について、新たな展望のもとにその解決に向け努力して参りました。ここにその概要を申し上げます。

◆研究面では、第 7 次長期 5 か年研究推進計画の 3 年次に当たり、第55回全道へき地複式教育研究大会根室大会（1 市 4 町 8 会場)、第 56 回全道へき地複式教育研究大会空知プレ大会(6 市 3 町 10 会場)、第 22 回北海道へき地複式教育実践研究発表大会を開催致しました。各地区へき・複連、並びに、会場校の多大なご努力とご協力によって、全道に実践的な研究成果の発信・交流が行われるとともに、今後の研究推進に明るい展望を拓く大きな成果を上げました。実践研究発表大会は、ホテルライフォート札幌を会場に、全道各地のへき地・複式教育の実践の発表・交流をもとに、活発な協議が行われました。近年の実践発表内容及び研究協議の充実がへき地複式教育の充実・発展に大きな寄与をするものと考えます。講演は、講師の北海道教育大学へき地教育研究センター村田育也先生の情報リテラシーを中心とした現場にとって示唆に富む内容でした。

◆組織面では、市町村合併や地方財政逼迫、児童数減少等により、へき地・小規模校の統廃合が進み、加盟校及び会員の減少傾向が続いております。これに伴う今後の組織や運営について、組織検討委員会の答申を受けて、

・16 年度からの評議委員会・事務局長合同会議の廃止
・16 年度からの総務部・研究部・情報部・大会部の 4 部体制から、情報部の業務を分散した 3 部体制への移行
・昨年度からは、監査委員を 1 名減ずる

など、組織、運営のスリム化に努めてき、組織のスリム化も限界にきているところです。

未加盟校への働きかけについては、道へき・複連の発足の趣旨や目的等について啓発活動を行うなど、各地区での意識高揚に向けた取組をお願い